

平成26年9月16日

各部局等の長 殿

高浜市長 吉 岡 初 浩

平成27年度（2015年度）予算編成について

わが国の経済状況は、本年7月の月例経済報告の基調判断によると、「景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。」とされ、愛知県においても、7月に公表しているあいちの景気動向において、同様の報告がされており、今後も景気が緩やかに回復していくことが期待されている。しかしながら、海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっていること、また本年中に判断される消費税率10%への引上げに伴い、景気回復基調が弱まることも予想され、今後も景気が不安定な状況である。

本市においては、将来を見据えると引き続き厳しい財政状況が見込まれる。本年6月に策定された「高浜市公共施設あり方計画（案）」における長期財政シミュレーションでは、今後40年間の公共施設に係る投資的経費は総額299億円と試算され、年平均にすると約7.5億円となる。平成25年度の公共施設に係る投資的経費決算額は約2億円であり、年平均で毎年約5.5億円不足することになる。また、「公共施設のあり方計画（案）第1次推進プラン・第2次推進プラン」の推進により、公共施設の大規模改修等で市債を発行する予定であり、市債残高は平成32年度まで増加し、その後横ばいに推移する一方で、市の基金残高は平成38年度には「財政調整基金」及び「公共施設等整備基金」はともに枯渇する試算となっている。「財政調整基金」について言えば、公共施設整備のみではなく、他の事業全般にも活用する基金であることから、当該長期財政シミュレーションより早い時期に枯渇することも考えられる。

こうした厳しい将来が待ち受けている状況の中、平成27年度は2年目となる「第6次総合計画中期基本計画」や「公共施設あり方計画（案）第1次推進プラン」による市役所本庁舎整備事業及び高浜小学校建替事業を着実に進めていかなければならない。平成27年度の予算編成に当たり、歳入については、「高浜市財政計画（平成26年度～平成29年度）」において掲げた自主財源を確保できるよう、それぞれの立場で最大限の知恵と工夫をもって歳入確保に努めることは当然のことながら、歳出についても、厳しい将来に備え、職員一人一人が今できることを真摯に考え、予算編成に臨み、安定した財政運営につなげなければならない。

1 平成27年度予算編成の考え方

平成27年度の予算編成では、厳しい将来を乗り切ることを見据えて、対応が可能なこの時期からしっかり準備し、堅実な財政運営を目指すため、『**厳しい将来に向かうスタート予算**』として、次のとおり3つの基本的な考え方を掲げることとする。

(1) 中期基本計画及び公共施設あり方計画（案）の着実な実施

平成27年度は、「中期基本計画」及び「公共施設あり方計画（案）第1次推進プラン」が2年目を迎える。市役所本庁舎整備事業及び高浜小学校建替事業をはじめ、市の各種重要施策を着実に進める。

(2) 1次査定（財政担当査定）の継続

公共施設あり方計画（案）の長期財政シミュレーションにおいて、改めて明らかとなった厳しい財政状況を鑑み、昨年度に引き続き、すべての事務事業について査定を行い、ムダの排除に努める。

(3) 重点施策への財源配分

限られた貴重な財源を有効に活用するため、予算編成会議による協議の結果等を踏まえ、緊急度・優先度が高い施策や市民にとって真に必要な施策に重点を置いた予算配分を行う。

2 重点施策

平成27年度の予算編成における重点施策は、第6次高浜市総合計画の基本計画の体系に基づき、次のとおりとする。

I. みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

◇まちづくり

- ・将来の政策課題の明確化及び解決につながる事業
- ・公共施設あり方計画の推進につながる事業

II. 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

◇こども・教育

- ・保育サービス・子育て子育て支援の充実につながる事業
- ・未来にはばたく人材育成につながる事業

III. 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

◇産業・防災

- ・企業誘致・企業支援につながる事業
- ・防災・減災につながる事業

IV. いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

◇福祉・健康

- ・地域の「つながり・支え合い」につながる事業
- ・「生涯現役のまちづくり」の推進につながる事業